

6月定例教育委員会 会議録

1、開催日時 令和7年6月26日（木）午後3時から午後4時30分

2、開催場所 教育プラザ都留 3階 小研修室

3、出席委員の氏名

教育長 小林 正人

職務代理者 小笠原 幸夫

委員 小俣 和英、村上 憲司、弓指 恵子、中野 久男

委員以外で出席した職員

教育委員会教育次長、学校教育課長、生涯学習課長補佐、学校教育課長補佐、
学校教育課教育企画推進室長

4、教育長開会宣言

5、会期の決定

6、今回会議録署名委員

小笠原 幸夫委員・小俣 和英委員が指名される。

7、前回の会議録の承認

職員が5月定例会会議録を朗読し承認される。

8、報告

(1) 教育長報告

令和7年5月26日から令和7年6月25日までの教育長活動が報告された。

(2) 指定校変更及び区域外就学について

区域外就学申請5件について、承認を行った事務処理について報告がなされた。

9、議事

議第11号 都留市小学校英語教育事前準備プログラム実施要項(案)について

【説明】学校教育課長

幼少期から遊びや生活の中で自然に英語に触れられる環境を創生し、英語に慣れ親しむことで、小学校から始まる英語教育への円滑な接続と学力の向上を図ることを目的に宝保育所で試験的に行っている本事業を、市内の幼稚園及び保育園を対象として本格実施するため、実施要項を制定するものです。

以下資料に基づき説明。

小笠原委員

市内幼稚園や保育園の参加見込みはいかがか。

学校教育課長

保育所連合会で事業趣旨の説明会をさせていただいたところ、各園で温度差はありますが、現時点では全ての園が事業実施を希望している状況です。

小笠原委員

全ての園で実施されるとすばらしい。子どもたちが英語を嫌いにならないような取り組みをお願いしたい。中学生に対する英検への補助なども合わせて取り組んでいただきたい。

学校教育課長

絵本を読んだり一緒に体を動かしたりといった日常生活の中で外国人と触れ合い、英語で会話ができるような環境づくりを考えている。中学校の英検等への補助について現在は合格者への補助であるが、他市町村の状況等を確認しながら、チャレンジする姿勢を重視できるような補助制度に向け検討をしております。

小林教育長が意見を求め協議したところ、原案のとおり承認された。

【原案のとおり決定】

議第12号 禾生第一小学校及び禾生第二小学校給食単独調理場の給食センターへの集約(案)について

【説明】学校教育課長

全国的な少子化が進む中、本市においても子どもの減少が進んでおり、給食環境につ

いても見直しが急務となっております。令和9年4月の附属小及び谷一小の統合時期に合わせ、禾一小及び禾二小の単独調理場の給食センターへの集約に向けた計画案についてご説明いたします。

以下資料に基づき説明。

中野委員

学校給食整備検討委員会はどのような構成か。栄養教諭はメンバーに入るか。

学校教育課長

栄養教諭も委員として入っていただくことを想定しています。現在、検討委員会は設置していませんが、栄養教諭と協議をしながら施設集約への課題などを共有し検討を進めております。

中野委員

センター集約に伴い、栄養教諭の配置が減るなどの懸念はないか。栄養教諭は各学校に出向き食育指導を行っている。現在3名で行っている指導を、2名で担うことができるのか。

学校教育課長

現在は加配も含め3人の栄養教諭が配置されております。栄養教諭の配置基準は、1500食に対し1名となっており、センター集約により食数は1500食を超えるため、定数で2名が配置されると考えております。給食センターには市の栄養士も配置しているため、学校現場の食育指導がおろそかにならないよう体制を整えていきたいと考えています。

村上委員

集約計画に関する情報は学校へ共有されていますか。

学校教育課長

今のところ、学校現場での調査や栄養教諭との協議等を通して、学校との情報共有を図っています。

村上委員

今は学校現場の中で栄養教諭が様々な子ども達と関わることができている。学校に

いる子どもたちへの食育指導が十分に行えるよう、施設集約と併せて考えていただきたい。また、禾二小への配送にはどれくらい時間がかかるか。

学校教育課長

まだ実証はしていないが、調理後2時間以内の喫食は可能と考えている。配送ルートについては今後実証を重ね一番効率的なルートを検討し、配送車も1台増やす予定でおります。

中野委員

施設の集約を検討する一番の目的は経費削減ということになりますか。

学校教育課長

現在、全児童生徒数は約1800人であり、給食センターの調理能力的には十分賄えることや、単独調理場は経年劣化等による修繕を要する状況であり、施設を集約することで施設管理面での経費が削減できると考える。削減できる部分は削減し、新たな財源を必要な教育活動に使っていきたいと考えている。

小俣委員

施設集約によるデメリットはありますか。

学校教育課長

特にデメリットはないと考える。災害等でセンターでの調理が困難になった場合には全ての学校給食が止まってしまうが、単独調理場では市内全体の給食を賄うことはできないので、現在と状況が変わるものではない。

小笠原委員

禾一小や禾二小の設備はあと何年くらい使用できるのか。

学校教育課長

全ての機器が耐用年数を超えており、応急修繕等で対応している状況である。給食センターの設備も同様に耐用年数を超えているものもあるため、施設集約に合わせて機器更新等も検討していきたいと考えている。

小林教育長が意見を求め協議したところ、原案のとおり承認された。

【原案のとおり決定】

10、その他

【説明】学校教育課長補佐

(1) 令和7年6月定例会市議会代表質問・一般質問について
生涯学習課長補佐

(2) 令和7年度家庭地域の教育力を高めるフォーラムについて
学校教育課長補佐

(3) 令和7年度教育委員会学校訪問について

【了知】

11、教育長閉会宣言